

科目「SSH研究Ⅰ」のループリック

佐賀県立致遠館高等学校理数科第1学年 ver2.0 (令和元年度)

資質・能力	3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業や課外活動のどんな学習場面で身に付いたと思うか?(自由記述)	自己評価(S/A/B/C)	教員の評価(S/A/B/C)
			S	A	B	C			
課題発見力	知識・技能	自然科学・社会課題についての課題発見と研究計画の知識	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を主体的に身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を必要に応じて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を与えて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を与えて身に付けていて、課題発見に向けて活用できない。			
		理科各分野の実験操作の基礎技能	理科各分野の実験に必要な新しい技能を主体的に身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	理科各分野の実験に必要な新しい技能を必要に応じて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	理科各分野の実験に必要な新しい技能を与えて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	理科各分野の実験に必要な新しい技能を与えて身に付けていて、課題発見に向けて活用できない。			
		情報活用のための知識	情報の活用に必要な新しい知識を主体的に身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	情報の活用に必要な新しい知識を必要に応じて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	情報の活用に必要な新しい知識を与えられて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	情報の活用に必要な新しい知識を与えられて身に付けていて、課題発見に向けて活用できない。			
		情報インプット力〔収集・分析・整理〕	研究に必要なデータや情報を収集・分析・整理でき、課題発見に向けて活用している。	研究に必要なデータや情報を収集・分析でき、整理が不十分だが、課題発見に向けて活用している。	研究に必要なデータや情報を収集でき、分析・整理が不十分だが、課題発見に向けて活用している。	研究に必要なデータや情報を収集できず、課題発見に向けて活用できない。			
	思考表現・力判断等断力・	論理的思考力	研究について、前提となる事柄から確実に言える結論を導き出し、 その思考の限界をも理解している 。	研究について、前提となる事柄から確実に言える結論を導き出すことができる。	研究について、前提となる事柄から確実に言える結論を導き出すことができない。	研究について、前提となる事柄と考えられる結論を関連付けることができない。			
		計画力	研究について、複数の計画案から、論理的でモレや重複のない研究計画書を作成し、研究方法や結果の影響を説明できる。	研究について、複数の計画案から一つを選択し、論理的でモレや重複のない研究計画書を作成できる。	研究について、複数の計画案から一つを選択するが、論理的でモレや重複のない研究計画書を作成できない。	研究について、複数の計画案を考えず、一つだけの計画にこだわり、研究計画書を作成する。			
	力学・び人に向性か等う	失敗から学ぶ力 *学習活動を通して失敗した経験を裏面に書いてから回答すること。 *失敗したことのみをもって成績評価を下げることはありません。	課題研究で自分が失敗した事実をもとに原因や理由を書くことができ、再びする場合の具体策や教訓も書くことができる。	課題研究で自分が失敗した事実をもとに原因や理由を書くことができるが、再びする場合の具体策や教訓は書けない。	課題研究で自分が失敗したことを振り返るが、自分を責めるまたは他者を攻撃するように主觀的に書いてしまう。	失敗に目を向けることができず、課題研究で自分がどんな失敗をしたかを振り返って書くことができない。			

記載 年 月 日 ()	研究分野 (1. 数学/2. 物理/3. 化学/4. 生物/5. 共創)	年 組 号	氏名
--------------	---	-------	----